

2023（令和5）年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---------------|--------------------------------------|----------------|---------------------|
| 事業所番号 | 1495300103 | 事業の開始年月日 | 平成22年4月1日 |
| | | 指定年月日 | 平成22年7月1日 |
| 法人名 | ヒューマンライフケア株式会社 | | |
| 事業所名 | ヒューマンライフケア グループホーム高津 | | |
| 所在地 | (213-0034) 神奈川県川崎市高津区上作延3-10-10 | | |
| サービス種別 定員等 | ■ 認知症対応型共同生活介護 | 定員計 | 18名 ユニット数 2 ユニット |
| 自己評価作成日 | 令和5年10月15日 | 評価結果 市町村受理日 | 令和6年2月27日 |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

開設から10年以上になり、前任の管理者の努力された地域密着になるようにオーナー様をはじめ地域包括支援センターの方や自治会の方、ご近所の方と積極的にお声掛けをしております。自治会では中止になってしまいましたが敬老祭、オーナー様とは向かいの畑をお借りしてお芋掘り、桃の花や竹を頂いての季節行事、近所の道祖神に初詣に行きご近所様と新年のあいさつを交わしました。勤務する職員は10年以上勤められている方が多く、ご利用者様との信頼関係も深く毎日明るく共同生活を送られております。

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | | | |
|-------|-------------------------------------|---------------|-----------|
| 評価機関名 | 株式会社フィールズ | | |
| 所在地 | 251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階 | | |
| 訪問調査日 | 令和5年11月17日 | 評価機関 評価決定日 | 令和6年2月10日 |

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は、南武線「溝の口」駅から川崎市バスに乗車し、「上作団地前」下車し徒歩5分ほどの丘の中腹の住宅地にあります。2階建ての建物は南側に面し、目の前には畑が広がっています。1階にウッドデッキ、花壇や家庭菜園、広い駐車スペースがあり、日当たりが良く開放的な環境です。

<優れている点>

10年以上継続して勤務している職員が多く、ベテランの経験と知識で利用者や円滑な関係を保ちながら介護にあたっています。コロナ禍が過ぎ、家族の面会は制限がなくなり、個室の談話室もあり来訪時には職員が湯茶でもてなすこともあります。事業所前の畑では、秋にさつまいもの収穫体験ができ利用者も楽しめる行事の一つとなっています。幼稚園児の賑やかな芋掘りを眺めることもできます。また、法人の目標管理・人事シート作成の制度があり、年2回職員は自己採点を行い管理者と丁寧な面談を行っています。これにより、ベテラン、経験の浅い職員問わず客観的な振り返りができ、職員は自己目標を念頭に置きながらモチベーションを維持し、より良い介護サービスの実現に努めています。

<工夫点>

午前中に入浴など人手を要する時間帯に職員配置を手厚くしたいとの観点から、職員で話し合い、夜勤明けの勤務シフトの時間をずらして3人体制を維持する取り組みを行い、職員の負担軽減とサービスの向上を図っています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

| 評価項目の領域 | 自己評価項目 | 外部評価項目 |
|------------------------------|--------|--------|
| I 理念に基づく運営 | 1～14 | 1～10 |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 15～22 | 11 |
| III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 23～35 | 12～16 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 36～55 | 17～23 |
| V アウトカム項目 | 56～68 | |

| | |
|-------|----------------------|
| 事業所名 | ヒューマンライフケア グループホーム高津 |
| ユニット名 | 1F |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | <input type="radio"/> | 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37) | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31) | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28) | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|-----------------------|--|
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | <input type="radio"/> | 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | <input type="radio"/> | 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない |
| 66 | 職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12) | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|---|--|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。 | 「その方一人では作れないより良い暮らしを支援します」という目標を掲げているが、職員に共有ができていないか分からない。 | 開設以来慣れ親しんできた3項目の理念ですが、対外的にももう少し短く分かり易いフレーズにしたいとの機運が高まり見直しを検討中です。現在は、玄関には法人の理念「笑顔とこころ、いつでも人が真ん中」と併せて法人の行動指針を掲示しています。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | お散歩や施設の屋外での行事でご近所様にお会いした時に挨拶を交わしています。 | 町内会に加入しており、敬老会行事への参加の誘いがあります。町内の夏祭りでは、山車の引き回しが事業所の前を通るので利用者は楽しみにしています。コロナ禍5類移行後の、種々のイベントはまだ以前のような復活までには至っていませんが、受け入れる姿勢は保っています。 | 地域との交流は、バザーの中止や外出の機会が少ないこともあり十分ではありません。利用者の気分転換のためにも地域資源を活用して、各種ボランティアの導入の検討を期待します。 |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | 包括支援センターが主催の地域会議に出席し民生委員の方やご近所様にて意見交換を行いました。(2023年10月) | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 二か月に一度実施しているも出席して頂ける方が固定化しつつある。その場でいただいたご意見(以前行っていたバザーなど)は施設に持ち帰り、意見交換をしている。 | 町内会役員、地域包括支援センター職員などが参加しています。事業所の運営状況の報告や、今後の計画などを説明しています。身体拘束事案の適正対応、名物だったバザーの再開の可能性、災害時の地域の支援体制の実現性などについて、質疑応答、意見交換をしています。 | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。 | 区役所の保護課の担当者様とは連絡をとれているが、そのほかの担当の方とは取れていない。 | 高津区役所とは生活保護手続き関係などで定期的な連絡があります。また、年に数回開催される地域ケア会議にも出席し、行政関係者との情報の共有も行っています。川崎市主催の研修などにも依頼があれば参加しています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。 | 現在、一名の方が身体拘束を実施しているが、三か月に一度の身体拘束廃止委員会にてそのご利用者様に適切な拘束なのか話し合いの場を設けている。 | 身体拘束廃止委員会を開催するとともに、定期的に職員研修を行い、適正化の普及啓発に努めています。事故防止のため実施している身体拘束事案については、家族の同意を得ていますが、毎月のミーティング時などでも利用者の状態を確認し、改善が認められれば直ちに廃止する体制を取っています。 | 事業所全体で高齢者虐待防止法を再度振り返り、切迫性、非代替性、一時性を常に確認し、原因や理由を考えることを期待します。改善について医師や法人にも相談することを期待します。 |
| 7 | 6 | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。 | 不適切なケアや声掛けを見たときは職員間で意見を伝えるようにしているが、難しいときは管理者に報告してもらおうようにしている。 | 身体拘束廃止と虐待防止委員会を同時に開催しています。虐待防止に関する自己点検チェックリストを全職員に配布し、回答結果の課題などを分析しています。認知症周辺症状による行動には場所を変えて落ち着いてもらえるようにしています。 | 職員だけでなく管理者も外部研修の参加や、外部施設の交流も取り入れて、多様な意見を聞く機会を作れることを期待します。 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。 | 必要な際には管理者、ケアマネからお伝えできるようにしている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 契約の説明の場以外にも後日 ご契約者様からご質問を頂いた際にはご納得いただけるように説明に努めている。 | | |
| 10 | 7 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 会社主導でご家族様に向けて施設利用のアンケートを実施しており、その結果をミーティングの際に職員に伝えている。 | アンケートの他に、毎月家族へ写真と近況を記載した手紙を送っています。家族が来訪した際や、電話でも近況の報告を行っています。利用者から、パンやシチューなどのメニューの要望にも、定期的に提供するようしています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 8 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | こちらで会社主導で職員へのアンケートを行っている。施設内ではミーティングの前に職員に意見や要望を書いてもらうメモを配布しており、その内容をミーティングで共有 話し合いをしている。 | 職員アンケートの外にも月1回のミーティング、毎日の申し送り時、法人ブロック責任者の巡回時など、相談の機会を多く設けています。ベテラン職員が多く、日常的に臨機応変に円滑な業務対応を行っています。運営上や設備に係る大きな課題の検討は現時点ではありません。 | |
| 12 | 9 | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | 目標管理シートを一年に二回 配布しており、回収の際に管理者と面談の機会を作り、意見交換をしている。 | 上期と下期の年2回、職員は振り返りを行い5段階の自己採点を行い併せて自己目標を設定しています。管理者は5段階の評価を行い、本人と面談をして丁寧に納得のいく話し合いを行っています。客観的評価により、職員はモチベーションを高く維持することができています。 | |
| 13 | 10 | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | 会社主導でケアテクニカルマイスターという制度があり、ケアの振り返りができる場が作れているが、数人の職員が受講しているに留まっている。 | スキルアップを志す職員は、マイスター制度に挑戦することができ、認定されると昇給に繋がります。座学と実技が課されるので時間を要しますが、取得すると資格に応じた色別の手首リングが供与され、職務上の励みになっています。その他の研修への参加も推奨されています。 | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | 包括主体の地域の話し合いに出席して交流をとれた。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。 | ご本人様の不安なこと、ご要望を傾聴しご家族様と施設とで実現できるように話し合い 実施 振り返りを行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。 | 入所前の面談の際に、入所に至ってのご家族様 ご本人様の気持ちの確認を取り、施設でできる支援について説明を行っている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | ご家族様や医療や作業療法などの多職種とともに相談し、努めている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。 | 職員がご本人様ができること、難しいこと、好きなこと、苦手なことを把握し、ご利用様がGHで生活している一員として感じられるよう家事やレクを提供している。 | | |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。 | 毎月、ご家族様に書面での生活の様子、特変があった際は電話での話し合いを実施し、ご家族様にご利用様への対応について施設と共に考えて頂く場を設けている。 | | |
| 20 | 11 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | 施設からの発信はできていないが、馴染みのある方が施設に来ていただいた際にはご利用者様に取次ぎをしている。 | コロナ禍で制限のあった家族、知人の訪問は自由になっており職員は来訪を歓迎しています。職員同行の馴染みの場所への外出は、車両や人手の都合で困難となっていますが、家族との外出の機会があれば支援しています。電話の取り次ぎも行っています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | ご利用者様同士の関係を理解し、それぞれのご利用者様が交流しやすい場を築いている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | ご家族様や転居先からのご意見を頂いた際には適宜対応をしている。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 12 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | ケアプラン作成・振り返りの際には可能なご利用者様にご意見を伺っている。 | 日々の会話や入浴時の1対1の対話から言葉を聞き取る努力をしています。タブレットに記録することで職員間で共有しています。本が好きな利用者向けにシリーズものの小説を買いそろえたり、洗濯洗剤や化粧品にこだわりがある利用者には希望の商品を購入しています。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | ご家族様に伺って努めている。ご利用者様ご自身からもお話しいただくときもあり、職員が傾聴をしている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | 職員一人一人が理解をし、困難になったりできることが増えたりした際は電子記録にて職員で共有できるようにしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 26 | 13 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。 | カンファレンスを適宜行い、介護職員からの意見をまとめ、多職種の方にも意見を伺う場を設けている。 | ケアプランの見直しは長期では6ヶ月、短期では3ヶ月おきに行っています。職員や医師、看護師の意見を取り入れて、法人の作成した書式をもとに介護計画を作成しています。骨折して車いすになった利用者が計画的にリハビリを行い、手を引かれて歩くことが出来るようになった事例もあります。 | | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | 電子記録にて対応している。特変のあった事象については施設全体で申し送りを行い、共有をしている。 | | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。 | 発語が困難なご利用者様には、ご本人様が答えやすい質問をして、今のご要望が何なのかを聞けるようにしている。 | | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。 | 近所の散歩や施設での行事を提供している。 | | | |
| 30 | 14 | ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。 | 月に二回の訪問往診を受けられており、ご家族様が希望された際には医療機関に橋渡しし意見交換の場を設け、外部受診の支援を行う。 | 内科の協力医の訪問診療は月に2回、非常勤の看護師は週に2回健康管理を行っています。歯科は希望者には月に2回の口腔ケアを行っています。入居前から継続して外来受診がある場合には家族に対応をお願いしています。緊急時には職員が対応するためのマニュアルを備えています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。 | 直雇用の看護師が週に二回以上ご利用者様を診ており、職員からのヒアリングを加えて医療機関と連携をとっている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院した際には病棟担当者様、ソーシャルワーカー様と管理者やケアマネ、看護師が連携を取り合っている。 | | |
| 33 | 15 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | 毎月のご様子の連絡に加え、状態変化があった際にはご家族様に施設から説明、実際にご本人様にお会いして頂いたり医療機関との意見交換の場を設けている。地域の方との支援には直接はつなげられていない。 | 看取りを前提とした生活を支援しており、多くの看取り事例があります。重度化した場合の指針について本人と家族に説明しています。事業所と医療機関、家族間で連携をとるマニュアルがあり、終末期には三者で協力体制をとります。看取りの後には故人を偲び、振り返りを行って事業所内で共有します。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。 | ご家族様の連絡先 お薬手帳 診察券 保険証などが入った緊急時用のファイルを作成し、全職員が救急車に同乗しても対応できる準備と説明を行っているが、まだ実践できていない。 | | |
| 35 | 16 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 | 年に二回の避難訓練で避難先の確認、非常食の場所の確認を行っている。 | 職員と利用者が参加して、年に2回の避難訓練を実施しています。備蓄食料品として3日分の米、水、味噌汁や携帯トイレなどの防災用品を、屋外の倉庫に保管・管理しています。向かいの畑は川崎市の市民防災農地として、避難場所になっています。 | 近隣者の協力体制は具体化されていません。地域との関係構築がされて、有事の際には防災連携がとれるようになることが期待されます。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 17 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | 全職員がご利用者様のことを受け止め、尊厳のある言葉かけ 対応に努めている。 | 利用者を尊重するように心掛けています。居室への入室時にはノックや声掛けを行い、入浴やトイレの介助は希望者には同性介助を行っています。不適切な事例があった場合にはその都度指摘して再発防止に努めています。個人情報 は鍵のかかるキャビネットに保管しています。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | ご本人様の見つけた新たな趣味（貼り絵）を支援できるように、色紙や貼り絵の素材を準備している。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 他ご利用者様の支援を優先している時があり、全ご利用者様の希望に添えた支援は難しくなっている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | 着替えの準備はできる限りご本人様に行っていただいている。 | | |
| 40 | 18 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | ご利用者様がパンを食べたいと希望の声が上がり、9月より週に一回 パン食の日を作ってみないか、と職員さんよりご意見をいただき実施中。 | 食事は業者による調理済のものを提供しています。毎週日曜日の昼食は利用者の希望に合わせて手作りの食事を提供しています。誕生日会では食事も楽しめるように、リクエストに応じてケーキなどを購入しています。近隣の畑で芋掘りをしておやつとして食べることもあります。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。 | ご利用者様の嗜好、嚥下状態位に合わせた食形態を医療機関と相談し提供している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。 | ご自身で行う方は口腔ケア後の口腔内の確認、介助が必要な人には歯ブラシ 歯間ブラシ 口腔スポンジ 口腔ウェットティッシュを用いてケアにあたっている。 | | |
| 43 | 19 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。 | 排泄パターンを職員が理解し、適宜 誘導を行っている。 | 水分摂取量や食事量、排泄パターンを把握するために排泄チェック表を作成しています。パターンを基に利用者それぞれの様子を観察して誘導することでトイレでの排泄支援を行っています。毎日の体操や外気浴を行うことで体を動かし、自然な排泄を促しています。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。 | 体操や散歩の声掛けを積極的に行い努めている。 | | |
| 45 | 20 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。 | 入浴表を設けているがその日のご利用者様の体調、ご意向に沿って延期や振り替え対応をしている。 | 週に2回の入浴が基本ですが、利用者の希望や状態に応じて支援をしています。安全のための職員の見守りでは、会話の傾聴にも努めています。車いす利用者は職員が二人で介助を行っています。入浴を拒否をする利用者には日時を変えるなどして支援しています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。 | お一人で休まれることへ不安にならないよう声掛けやクッションを提供、お話を傾聴をして努めている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | 薬変更があった際には看護師から職員に申し送りをして変化がないか努めている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。 | できることや好きなことを理解し、その人に合った嗜好品を提供している。 | | |
| 49 | 21 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | 常にはできていない。介護職員が対応できる日、時間に限ってしまっている。 | 毎週日曜に散歩に出かけています。事業所の周辺で花壇を観察したり、ベランダやウッドデッキでの外気浴を行っています。事業所内では体を動かすために毎日ラジオ体操を行っています。墓参りなどの外出の希望がある場合は家族に対応をお願いしています。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | ご希望があった本や嗜好品をご家族様に確認し購入をしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | ご本人様からご希望があった際には支援している。 | | |
| 52 | 22 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 空調やカーテンなどをその時々にあわせて使用している。 | リビングはベランダへ続く南向きの窓があり、とても明るい空間です。くつろげるようにテレビやソファを配置しています。利用者は読書やパズルなどに取り組んで自由に過ごしたり、洗濯物を干す、畳むなどの家事を行っています。壁には利用者がちぎり絵で作成した季節のカレンダーなどを飾っています。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | ご本人様のご意向や表情を見て居室やリビングなどに随時移動をしている。 | | |
| 54 | 23 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | ご本人様のなじみのある家具をお持ちいただいたり、安心して生活ができるものをご家族様にお持ちいただいたりしている。 | 廊下を挟んで両側に居室を配置していません。エアコン、クローゼット、ベッド、照明を備え付けています。仏壇や慣れ親しんだ家具を持ち込んだり、家族からの誕生日プレゼントや親族の結婚式の写真を飾っています。掃除やリネン交換などは職員が行っています。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | ご利用者様だけで行うのではなく、職員が見守りをしつつ行っている。分かりにくい方には十分に工夫はできてはいない。 | | |

| | |
|-------|----------------------|
| 事業所名 | ヒューマンライフケア グループホーム高津 |
| ユニット名 | 2F |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | <input type="radio"/> | 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37) | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28) | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|-----------------------|--|
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | <input type="radio"/> | 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | <input type="radio"/> | 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | <input type="radio"/> | 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。 | 「その方一人では作れないより良い暮らしを支援します」という目標を掲げているが、職員に共有ができていないか分からない。 | | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | お散歩や施設の屋外での行事でご近所様にお会いした時に挨拶を交わしています。ご家族様の対応で法事や地域のお寺の集まりにご利用者様が出席されることもある。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | 包括支援センターが主催の地域会議に出席し民生委員の方やご近所様にて意見交換を行いました。（2023年10月） | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 二か月に一度実施しているも出席して頂ける方が固定化しつつある。その場でいただいたご意見（以前行っていたバザーなど）は施設に持ち帰り、意見交換をしている。 | | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。 | 区役所の保護課の担当者様とは連絡をとれているが、そのほかの担当の方とは取れていない。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業員への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。 | 身体拘束は実施せず、ご利用者様の状態に合わせ適宜 声掛けやケアを行い拘束せずに取り組んでいる。 | | |
| 7 | 6 | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。 | 不適切なケアや声掛けを見たときは職員間で意見を伝えるようにしているが、難しいときは管理者に報告してもらおうようにしている。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している。 | 必要な際には管理者、ケアマネからお伝えできるようにしている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 契約の説明の場以外にも後日 ご契約者様からご質問を頂いた際にはご納得いただけるように説明に努めている。 | | |
| 10 | 7 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 会社主導でご家族様に向けて施設利用のアンケートを実施しており、その結果をミーティングの際に職員に伝えている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 8 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | こちらでも会社主導で職員へのアンケートを行っている。施設内ではミーティングの前に職員に意見や要望を書いてもらうメモを配布しており、その内容をミーティングで共有話し合いをしている。 | | |
| 12 | 9 | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | 目標管理シートを一年に二回 配布しており、回収の際に管理者と面談の機会を作り、意見交換をしている。 | | |
| 13 | 10 | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | 会社主導でケアテクニカルマイスターという制度があり、ケアの振り返りができる場が作れているが、数人の職員が受講しているに留まっている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | 包括主体の地域の話し合いに出席して交流をとれた。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。 | ご本人様の不安なこと、ご要望を傾聴しご家族様と施設とで実現できるように話し合い 実施 振り返りを行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。 | 入所前の面談の際に、入所に至ってのご家族様 ご本人様の気持ちの確認を取り、施設でできる支援について説明を行っている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | ご家族様や医療や作業療法などの多職種とともに相談し、努めている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。 | 職員がご本人様ができること、難しいこと、好きなこと、苦手なことを把握し、ご利用者様がGHで生活している一員として感じられるよう家事やレクを提供している。 | | |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。 | 毎月、ご家族様に書面での生活の様子、特変があった際は電話での話し合いを実施し、ご家族様にご利用者様の対応について施設と共に考えて頂く場を設けている。 | | |
| 20 | 11 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | 施設からの発信はできていないが、馴染みのある方が施設に来ていただいた際にはご利用者様に取次ぎをしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | ご利用者様同士の関係を理解し、それぞれのご利用者様が交流しやすい場を築いている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | ご家族様や転居先からのご意見を頂いた際には適宜対応をしている。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 12 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | ケアプラン作成・振り返りの際には可能なご利用者様にご意見を伺っている。 | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | ご家族様に伺って努めている。ご利用者様ご自身からもお話しいただくときもあり、職員が傾聴をしている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | 職員一人一人が理解をし、困難になったりできることが増えたりした際は電子記録にて職員で共有できるようにしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 13 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。 | カンファレンスを適宜行い、介護職員からの意見をまとめ、多職種の方にも意見を伺う場を設けている。 | | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | 電子記録にて対応している。特変のあった事象については施設全体で申し送りを行い、共有をしている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。 | ご本人様のご意向に沿ったケアを行い不安を感じさせないケアを行っている。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。 | 近所の散歩や施設での行事を提供している。 | | |
| 30 | 14 | ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。 | 月に二回の訪問往診を受けられており、ご家族様が希望された際には医療機関に橋渡しし意見交換の場を設け、外部受診の支援を行う。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。 | 直雇用の看護師が週に二回以上ご利用者様を診ており、職員からのヒアリングを加えて医療機関と連携をとっている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院した際には病棟担当者様、ソーシャルワーカー様と管理者やケアマネ、看護師が連携を取り合っている。 | | |
| 33 | 15 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | 毎月のご様子の連絡に加え、状態変化があった際にはご家族様に施設から説明、実際にご本人様にお会いして頂いたり医療機関との意見交換の場を設けている。地域の方との支援には直接はつなげられていない。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。 | ご家族様の連絡先 お薬手帳 診察券 保険証などが入った緊急時用のファイルを作成し、全職員が救急車に同乗しても対応できる準備と説明を行っているが、まだ実践できていない。 | | |
| 35 | 16 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 | 年に二回の避難訓練で避難先の確認、非常食の場所の確認を行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 17 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | 全職員がご利用者様のことを受け止め、尊厳のある言葉かけ 対応に努めている。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | ご本人様の見つけた新たな趣味（貼り絵）を支援できるように、色紙や貼り絵の素材を準備している。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 他ご利用者様の支援を優先している時があり、全ご利用者様の希望に添えた支援は難しくなっている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | 着替えの準備はできる限りご本人様に行っていただいている。 | | |
| 40 | 18 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | ご利用者様がパンを食べたいと希望の声が上がり、9月より週に一回 パン食の日を作ってみないか、と職員さんよりご意見をいただき実施中。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。 | ご利用者様の嗜好、嚥下状態位に合わせた食形態を医療機関と相談し提供している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。 | ご自身で行う方は口腔ケア後の口腔内の確認、介助が必要な人には歯ブラシ 歯間ブラシ 口腔スポンジ 口腔ウェットティッシュを用いてケアにあたっている。 | | |
| 43 | 19 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。 | 排泄パターンを職員が理解し、適宜 誘導を行っている。 | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。 | 体操や散歩の声掛けを積極的に行い努めている。 | | |
| 45 | 20 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。 | 入浴表を設けているがその日のご利用者様の体調、ご意向に沿って延期や振り替え対応をしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。 | お一人で休まれることへ不安にならないよう声掛けやクッションを提供、お話の傾聴、フロアで職員と過ごしていただいたりと安心した時間を過ごしていただく。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | 薬変更があった際には看護師から職員に申し送りをして変化がないか努めている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。 | できることや好きなことを理解し、その人に合った嗜好品を提供している。 | | |
| 49 | 21 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | 常にはできていない。介護職員が対応できる日、時間に限ってしまっている。 | | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | ご希望があった本や嗜好品をご家族様に確認し購入をしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | ご本人様からご希望があった際には支援している。 | | |
| 52 | 22 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 空調やカーテンなどをその時々にあわせて使用している。 | | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | ご本人様のご意向や表情を見て居室やリビングなどに随時移動をしている。 | | |
| 54 | 23 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | ご本人様のなじみのある家具をお持ちいただいたり、安心して生活ができるものをご家族様にお持ちいただいたりしている。 | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | ご利用者様だけで行うのではなく、職員が見守りをしつつ行っている。分かりにくい方には十分に工夫はできてはいない。 | | |

2023年度

事業所名 ヒューマンライフケアグループホーム高津
作成日： 2024年 2月 25日

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|---------------------------|---|--|------------|
| 1 | 35 | 防災訓練の際に地域の方に協力いただき参加して頂く。 | 8月の防災訓練の際にご利用者様と職員以外の方にも参加して頂く。 | 民生委員、ご家族様に事前に連絡しご意見を頂く。 | 6ヶ月 |
| 2 | 2 | 地域の資源を活用していく。 | 施設からも地域の行事（包括の集い、敬老会など）に参加、ホームの行事（芋掘り、夏祭りなど）に地域の方にアナウンスをしていく。 | 区役所に相談し、地域のボランティアさん事情を伺い夏まつり・敬老会のときにご参加いただく。 | 6ヶ月 |
| 3 | | | | | ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |